



2024年度 船主連絡協議会 貨物船部会 九州地方・熊本県にて開催！

全国海運組合連合会（全海運）は、**2024年10月11日（金）**熊本市内において「**2024年度 船主連絡協議会 貨物船部会 熊本大会**」を開催した。

船主連絡協議会（船連協）は、全海運【貨物船部会】と全国内航タンカー海運組合（内タン）【油送船部会】で構成されており、全海運においては、今後も安全かつ安定的な内航輸送を提供する為に、オペレーター訪問を行い、相互に協力する関係構築を目指して活動を行っている。

その一環として、地方大会を開催し、船主の抱える課題について討議を行い、オペレーター訪問等の活動に反映している。

今回は、来賓として、九州地方海運組合連合会・宗田会長 並びに熊本県海運組合・坂田理事長 にご臨席を賜った。

また、内タン【油送船部会】からは、三谷部会長が出席、全海運【貨物船部会】からは、岡本担当副会長、日浦部会長、渡邊副部会長、埜野副部会長及び浦山副部会長の**5名**が出席し、一般参加者は九州地方管内以外のエリアからも足を運んで頂き、事務局関係者を含め総勢**48名**が全国から参集した。



左：九海連 宗田会長
右：熊本県海運組合 坂田理事長



油送部会長、
貨物船部会 担当副会長・部会長・副部会長(3名)

全海運事務局から来賓並びに船連協の委員及び事務局を紹介した後、両部会長より本大会の趣旨また概要が述べられ、次いで岡本担当副会長からご挨拶頂いた。

その後、日浦部会長の開会挨拶で幕開けした。

本大会は「**時代に合わせた変革者を目指そう**」をスローガンに前半・後半の2部構成で開催。

前半において、全海運【貨物船部会】のメンバー4名より以下の**4項目**について説明があった。

- | | |
|---------------------|--------------|
| ① 船主連絡協議会（貨物船部会）の活動 | 日浦部会長 |
| ② 2024年度 貨物船 船舶経費 | 渡邊副部会長 |
| ③ 2024年度 若年船員育成費用 | 埜野副部会長 |
| ④ 適正な価格転嫁の実現に向けた取組 | 浦山副部会長 |

後半は、一般参加者を4グループに分かれて、①～⑧のテーマについて毎年恒例のスタイルである小グループによる座談会を約75分間行った。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ① 貴社の事業規模について | ⑤ 船員法の労働時間について |
| ② 貴社の経営状況について | ⑥ 船員の働き方改革の影響について |
| ③ 2024年度/令和6年度（本年度）の用船料について | ⑦ 船員不足の状況について |
| ④ 船員の労働実態の把握について | ⑧ 荷主、オペレーターへの要望事項について |



座談会終了後、グループ長を務めた全海運【貨物船部会】メンバー4名より各々のグループ内での発言内容等の取り纏め結果の報告が行われた。

続けて、本大会閉会に際し、三谷油送船部会長より挨拶を賜り、最後に日浦部会長より出席者に感謝の意を表した上で、総括内容の発表並びに閉会挨拶を賜り、盛会裏に終了した。

日浦部会長の総括内容

本日の熊本大会で、改めて浮き彫りになったのは、船員不足が深刻化しているという現実であり、船員を安定して確保するためには、そのための原資となる運賃や傭船料の改善が欠かせないということである。

昨今、内閣が変わることになったが、引き続き内閣府のホームページでは、「物価の上昇を上回る賃上げの実現に向けて政策を総動員する」という方針が掲げられている。これらの言葉を内航船主に当て嵌めると、「物価の上昇を上回る運賃・傭船料の値上げの実現」になると思料する。

今後も続くであろう物価高に対し、船員の生活を守り、彼らが安心して働ける環境を維持するためにも、「物価の上昇を上回る運賃・傭船料の引き上げ」が強く求められる。

一方、内航貨物輸送量は2年連続で減少しており、収益の確保が難しく、船主の長期的な経営にも不安を抱く声が増えている。

2014年には1,450者あった内航船主が、**2024年3月時点では867者**と、この**10年間で約40%**も減少している。この減少は、船主経済の悪化を物語っており、荷主企業のサプライチェーンの断絶や国民生活への影響も懸念される。

我々内航船主は、この厳しい経営環境の中でも、安全で安定した輸送を提供し、持続的な経営を実現する責任を果たしていかなくてはならない。厳しい環境下で働いている船員、若い船主の為にも、本日、ご参加の皆様と共に内航海運の発展を目指して邁進したい。

船連協では、小グループの座談会で取り纏めた意見や要望等を踏まえて**11月下旬**に予定しているオペレーター訪問に臨む。